



彼杵小学校だより NO. 21  
**「強く 正しく 朗らかに」**



平成29年11月10日  
 東彼杵町立彼杵小学校  
 TEL 0957-46-0038  
 (文責 校長 原 源吾)

〈ホームページ〉 <http://www.kyoyu.higashisonogi.jp/sonogi-syo/>

## 「働く」とは、「はた」を「らく」にすること

1日の全校集会で、子どもたちに「働く」ということについて話をしました。

### 【 全校集会 】

大人は、なぜ働くのでしょうか。(子どもたちは、口々に「お金」「お金」と答えます。)なるほど、お金のための一番多いですね。

「何のために働いているのか」を大人にたずねたアンケートの結果があります。1位は何だったのでしょうか。それは、「生活に必要なお金をもらうため」です。お金がないと、生活ができないですからね。これが1位です。

皆さんの考えといっしょでした。では、2位は何でしょう。「自分の成長のため、夢をかなえるため」です。「獣医さんになりたい」「プロ野球選手になりたい」という子どもの頃の夢、そんな夢をかなえるためです。

それでは、第3位は……？「人の役に立ちたいから」でした。「働く」という言葉には、「はた」を「らく」にする」という意味もあるのだそうです。「はた」とは、周りの人、つまり

「働く」とは、「周りの人を楽にすること」という意味になります。

お家の手伝い、学校の委員会活動や当番活動は、まさにこれにあたりますね。(私が子どもの頃、農繁期に風呂沸かし〈五右衛門風呂です！ご存知でしょうか〉の手伝いをし、両親から感謝されたというエピソードを話しました。)

皆さんも、お家でお手伝いをするときは、家族が楽になる、家族のためになると思ってやると、やりがいがあると思います。学校でも一緒、当番や委員会の仕事、掃除は自分のためでもあるし、友達や学校を楽にするためのものです。特に掃除は無言で心を込めて一生懸命やれば、たくさんの人を「楽」にすることができます。

11月23日は「勤労感謝の日」です。今月は、「働く」と言う意味を考えながら、手伝いや掃除などをやってみましょう。



## 「秋の夜長には読書を！①」 10月27日～11月9日は秋の読書週間

10月27日から「秋の読書週間」が始まりました。本校は、11月6日～12日を読書週間に設定しています。初日の6日は、読書集会を行いました。読書ボランティア「クジラっ子」の皆さんによる読み語り「天女の琴の音」は、とても素晴らしかったです。東彼杵町に伝わる民話を題材に制作された大型紙芝居（と呼んでいいのでしょうか？）と方言のセリフが見事にマッチした読み語りでした。



このほかにも、昼休みは「クラス対抗辞書早引き大会」や「本探しゲーム」など、図書委員会の児童が計画した楽しいミニイベントも満載の1週間となりました。（続きは次号）

※裏面はありません。

